

## テンプレート使用時の注意点①

### ◎テンプレートデータのバージョンとファイル形式について

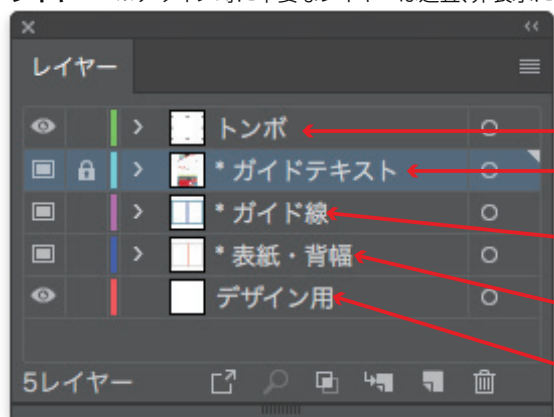
- テンプレートデータは、イラストレーターCS6で作成されています。  
※CS6以前のバージョンはテンプレート対応しておりませんのでご注意ください。
- ご使用前に、必ずお手持ちのイラストレーターのバージョンでファイルを開き、再保存してからご使用ください。

### ◎テンプレートデータの構成について

- 「表紙」と「本文」のテンプレートを、サイトより別々にダウンロードできます。
- 表紙・本文により、テンプレート構成が異なります。必要なページ分だけ各テンプレートはコピーしてお使いください。  
冊子の仕様により、表紙オモテ(h1-h4)／ウラ(h2-3)、「右開き(-r)」「左開き(-l)」用などお選びいただけるようになっています。
- 【表紙】■無線綴じ(-m)：共通パターン1ファイル(表裏はコピーして使用) ■中綴じ(-n)：オモテ面(h1-h4)とウラ面(h2-h3)の2ファイルが入っています。
- 【本文】1ページ単位(単ページ)と2ページ単位(見開き)の2種類が入っています。2ページ単位(見開き)は「右開き(-r)」と「左開き(-l)」用をお選びいただけます。

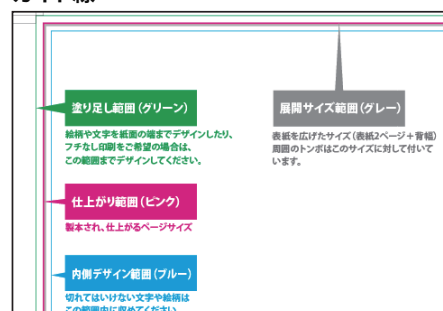
### ◎テンプレートのレイヤーとガイド線について

**レイヤー** ※デザイン時に不要なレイヤーは適宜、非表示にしてください。



- 【トンボ】※デザイン時はロックしてください。  
断裁トンボ・折りトンボ用レイヤー
- 【ガイドテキスト】※PDF出力時には反映されません。  
テンプレート内の説明用レイヤー
- 【ガイド線】※PDF出力時には反映されません。  
制作時の補助ガイド線。
- 【表紙・背幅】※PDF出力時には反映されません。  
表紙・背幅サイズの補助ガイド線。
- 【デザイン用】  
デザイン時はこのレイヤーを使用してください。

### ガイド線



- **グリーン(線)**：塗り足し範囲
- **ピンク(線)**：仕上がりのページサイズ
- **ブルー(線)**：文字・デザイン切れしない範囲
- **グレー(線)**：背幅を含めた表紙を広げた範囲

### ◎ドキュメントのカラーモード

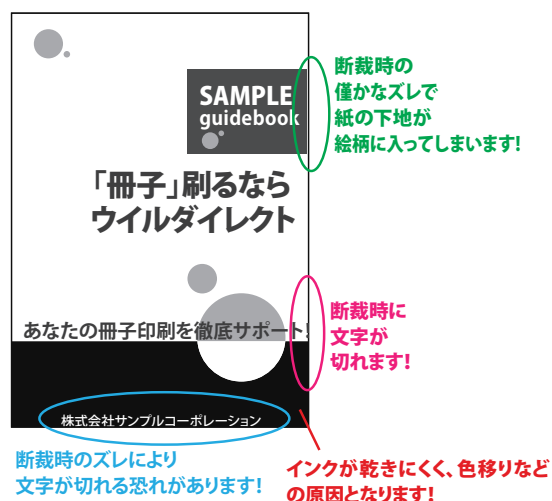
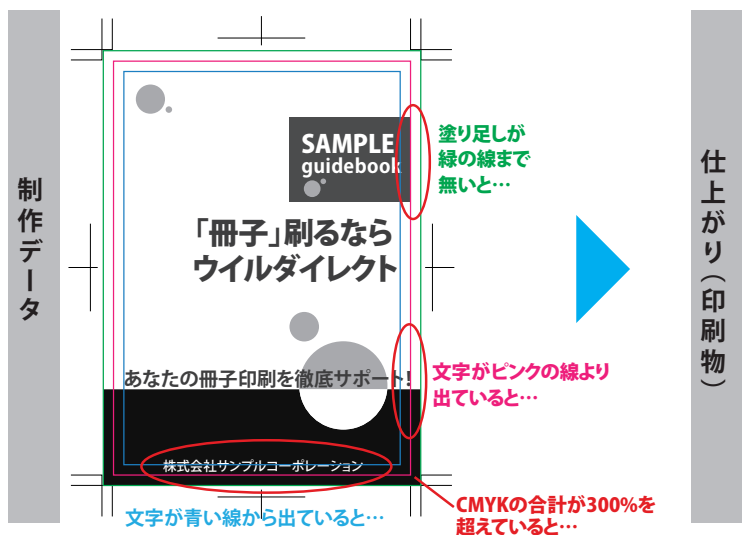
カラー印刷:CMYK モノクロ印刷:Kのみ  
モノクロ印刷に使用する画像は、グレースケールに変換してください。  
スウォッチパレット内では、特色 を使用しないでください。

### ◎CMYKの合計は300%以内

CMYK濃度の合計が300%を超えていると、インキが乾きにくくなるため、トラブルの原因となります。  
リッチブラック(深みのある黒)の設定は、「C50M30Y30K100」を推奨しております。

### ◎塗り足し・文字切れについて

テンプレートの指示通りにデータが作成されていない場合、下図のように印刷物が仕上がる可能性があります。

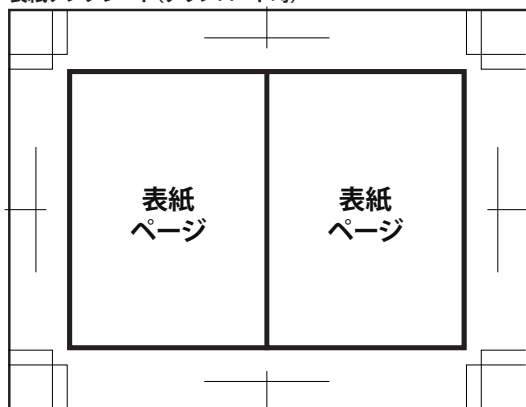


## テンプレート使用時の注意点②

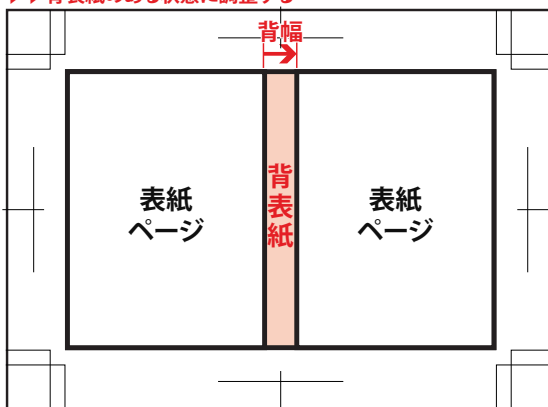
### ◎背表紙(背幅)の調整について(無線綴じ冊子の場合のみ)

「無線綴じ冊子」の表紙には、背表紙があるため、デザイン前に、背表紙(背幅)に合わせてテンプレートを調整してください。

表紙テンプレート(ダウンロード時)



▶▶ 背表紙のある状態に調整する



【背表紙の調整手順 (A4テンプレート例)】 ※「拡大・縮小時に線幅と効果を拡大・縮小する」のチェックは外した状態で、作業してください。

#### [1] 背幅の数値を確認

→サイト内「表紙の背幅計算」ページより、作成したい冊子の背幅(①)を確認します。

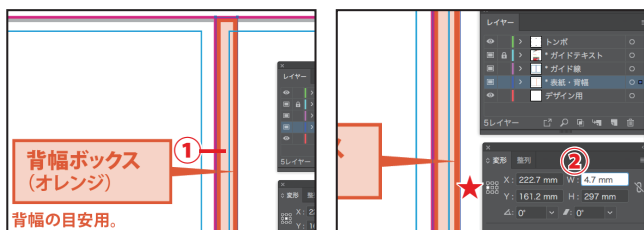
▶表紙の背幅計算: [https://well-direct.com/user\\_data/oneopint](https://well-direct.com/user_data/oneopint)



#### [2] 背幅を設定

→表紙テンプレートデータの【背幅ボックス(オレンジ・①)】を選択。

変形パネルにて、[基準点]:左端(★)で、[幅 W] (②)に背幅の値を入力。

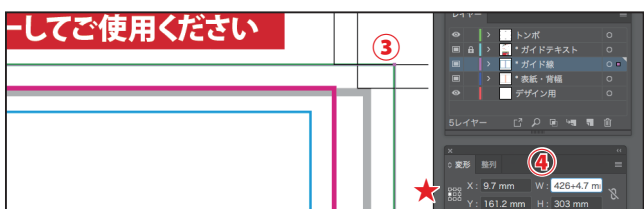
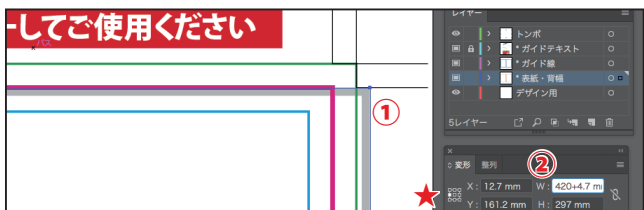


#### [3] 背幅分だけ、「表紙サイズ」と「塗り足し範囲」を右に広げる

→[基準点]:左端(★)で、[幅 W]に、背幅の値を「+入力」します。

・[表紙サイズ]:ガイド線(グレー)を選択(①)して、[幅 W]に+入力(②)

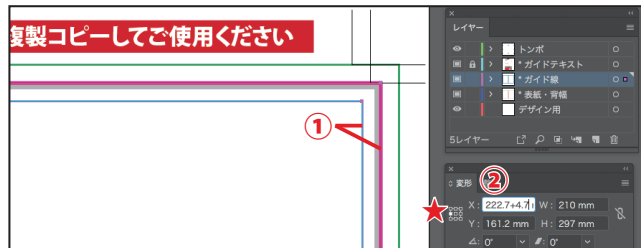
・[塗り足し範囲]:ガイド線(グリーン)を選択(③)して、[幅 W]に+入力(④)



#### [4] 背幅の分だけ、右側ページのガイド線(ピンク・ブルー)を移動

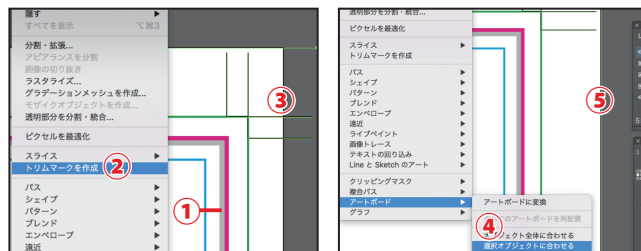
→[基準点]:左端(★)で、[X座標]に、背幅の値を「+入力」して移動します。

・右側ページのガイド線(ピンク・ブルー)を両方選択(①)し、[X座標]に+入力(②)。



#### [5] トンボ(トリムマーク)とアートボードを再設定

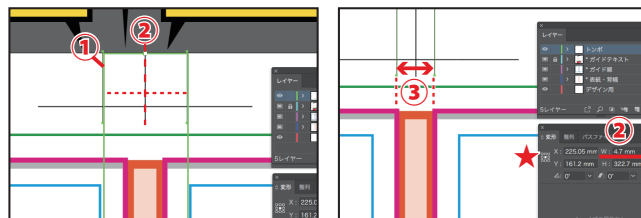
→ガイド線(グレー)を選択(①)し、「オブジェクト」→「トリムマーク作成(②)」でトンボを再設定します(③)。元のトンボ(折トンボ以外)は、非表示もしくは消去します。再設定したトンボを選択した状態で、「オブジェクト」→「アートボード」→「選択オブジェクトに合わせる(④)」でアートボードを再設定します(⑤)。



#### [6] 背幅の両端に折トンボを配置します。

→折トンボ(①・グループ化状態)中央がセリスタートンボ中央に整列するように移動します(②) ※[基準点]:中央(★)で、セリスタートンボの[X座標]値をコピーし、折トンボの[X座標]値にペーストすると正確に配置できます。

折トンボ(グループ化状態)の[幅W]を背幅の値に変更(デフォルトは5mm)してください(②)。背幅の両端の延長に2本の折リトンボが配置できれば完了(③)です。



## テンプレートからの入稿についてのポイント

### ◎テンプレートのファイル名について

テンプレートのファイル名を元に、ページ数と共通の媒体名を入力してください。

※ ■→中綴じ(n)／無線綴じ(m) □→右開き(r)／左開き(l)

●表紙:h0-h0\_A4\_hyoushi-■-□\_xxx.ai

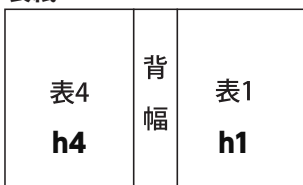
※「h0」部分: 表1〜4にに合わせて表1〜4に合わせた「h1」〜「h4」を入力してください。「xxx」部分には、「共通の名前」を「半角英数」で付けてください。

●本文:p000\_A4\_honbun-■-□\_xxx.ai

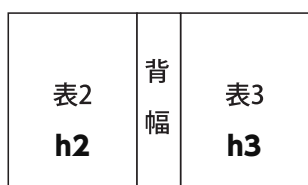
※「000」部分には、本文1ページ目を001…として数えた「ページ番号」をページファイルごとに入力してください。

#### 【例】ファイル名の付け方：左綴じA4-32p無線綴じ冊子の場合

表紙 (※中綴じの場合は背幅は0mmとなります)

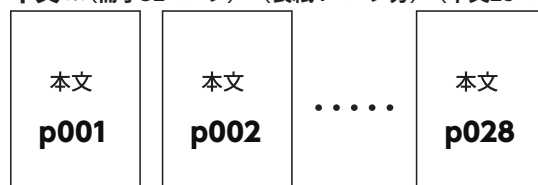


h1-h4\_A4\_hyoushi-m-l\_catalog.ai



h2-h3\_A4\_hyoushi-m-l\_catalog.ai

本文 ※(冊子32ページ) - (表紙4ページ分) = (本文28ページ)



p001\_A4\_honbun-m-l\_catalog.ai・・・

●本文データのファイル名には、必ず「ページ番号」を記載してください。

●「ページ番号」は、本文1ページ目を001として、表紙ページ(表1〜表4の4ページ分)を含めない数になります。

●データ名でページ順が判断できない場合、不備としてご連絡させていただく場合がございます。

### ●入稿は、指定形式のPDFデータで、サイトからご入稿ください

入稿形式は「PDFデータのみ」となります。テンプレートにデザインを配置した状態でPDFを書き出してください。

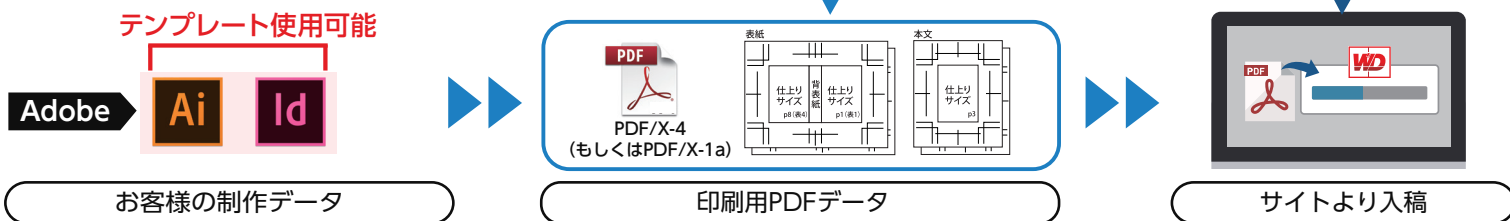
Adobe社製ソフトウェアでデータ作成されている場合は、「PDF/X-4形式(もしくはPDF/X-1a形式)」でPDFを書き出して、サイトより入稿ください。

※Illustratorや、Indesign、Officeなどソフトウェアデータでの入稿は受付けておりません。

※ 制作ソフトウェアデータは受付不可

Adobeソフトは、「PDF/X-4」形式で書き出し

印刷用PDFを、サイトより入稿



### ●表紙データは、「無線綴じ」と「中綴じ」でPDF書き出し範囲が異なります

「無線綴じ冊子」では背表紙が入るため、「表紙2ページ+背表紙」の状態でPDFを書き出して入稿してください。

「中綴じ冊子」の場合は、本文ページと同様に「1ページずつ」PDFを書き出してください。



### ●書き出したPDFは、zipファイルにまとめて入稿ください

書き出した各ページのPDFデータは、ページ順にひとつのPDFファイルにまとめるか、ひとつのフォルダにまとめて、zip圧縮し、入稿ください。

